

上品

「パツ」と目だつたもの目だいく  
それが「いい」と思う

「にありし」だめゆへいし ぼ考へる  
とにかく それがいい

若し時付 ちれでもいい  
一定の年令に合つて

もう少し 「上品」の目をも  
りきつていい 目をも  
と自分と いいきかせている

ひとりの 「バズ」がある  
かぎ針 紅糸

「チヤコ」の 「チヤコ」の  
「チヤコ」の 「チヤコ」の

「パツ」と目だいくの「チヤコ」  
これ付 伊集田のこ

そこへ目だいく  
考へると 「チヤコ」の  
のようだ

えんぶ 「チヤコ」の  
「チヤコ」の

その「チヤコ」の  
この部屋も上品にな

かもしれぬい

知方するだけごとく

おちついに 工品さを保つて 辱えて

片がけに

そのううに思うと のこしておちたいもの

おちがくにくる

これはあだつかえりごとく

これおちると おちつくを辱るたい

いい 感覚を 身につけたい

2025  
4/20